

平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 5 日

評価対象事業		評価者	子ども支援課担当課長 永野 英樹		
子ども-08	重点事業	公立保育所整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	子ども支援課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	子育て	施策の方針	子育て支援施設の整備	

1 事業の目的

対象	両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童
意図	両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童の保育を行うため。
効果	公立保育所の効率的な運用を行うとともに、待機児童対策に取り組む。

2 平成29年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・建替え等が必要な公立保育所の整備を行った。 ・津波対策を優先した、材木座・稲瀬川保育園の移転先として、由比ガ浜の市有地に子ども関連の複合施設整備を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	28年度決算		29年度決算		データ区分	30年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	人 口	176,869人	176,466	176,466	人 口	176,308人		・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世 帯 数	80,928世帯	81,150	81,150	世 帯 数	81,763世帯		
運営資源状況	事業の対象者数				事業の対象者数			
	決算値(千円)	335,052	862,372	862,372	当初予算(千円)	1,000		
	国県支出金	1,600	5,955	5,955	国県支出金	0		
	地方債	183,300	710,800	710,800	地方債	0		
	その他				その他			
	一般財源	150,152	145,617	145,617	一般財源	1,000		
事業経費運営	人員配置数	1.5	1	1	人員配置数	1.6		
	人件費(千円)	11,871	10,027	10,027	人件費(千円)	12,879		
	総事業費(千円)	346,923	872,399	872,399	総事業費(千円)	13,879		
	市民1人当りの経費(円)	1,961	4,944	4,944	市民1人当りの経費(円)	79		
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	由比ガ浜子どもセンターの建設が本格化した平成27年度から予算規模は拡大してきたが、平成29年度に施設整備が完了したことから、予算規模は縮小する。
	<input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input checked="" type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				事業へ統合

予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由
	<input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする	
	<input checked="" type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	

総評(評価に対する考え方、根拠等)	重要で緊急度が高い事業であることから、関係各課とより緊密な連携を図りながら、事業の確実な推進に努めた。
-------------------	---

平成29年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	由比ガ浜子どもセンター建設工事の竣工。	
課題解決のために行った平成29年度の取組	由比ガ浜子どもセンター建設工事を完了させ、施設を開所した。 由比ガ浜子どもセンター建設工事に起因する損傷の有無を確認するための周辺家屋の事後調査を実施した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	周辺家屋に由比ガ浜子どもセンター建設工事に起因する損傷が周辺家屋に確認されたため、損害の補償を行う。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	待機児童数(平成29年4月1日)								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	三浦市	葉山町	横浜市	川崎市	横須賀市
他市実績	47人	148人	18人	32人	0人	47人	2人	0人	12人

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	待機児童数は、その地域の様々な要因により形成されるもので、数値のみをもって単純に比較できるものではないが、結果として三浦市、川崎市で待機児童解消は達成されたものの、いまだ本市における待機児童は多く発生している。
----------------------	---

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	待機児童数(各年度4月1日現在)					単位	人	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	平成30年度より待機児童の算出方法が変わり、潜在的待機児童が待機児童としてカウントされることとなったため、目標値の下方修正を行っている。		
保育を必要とするすべての就学前児童を保育することが求められているため。	目標値	5	3	1	0	30	15			
	実績値	55	50	44	47	93				
	達成率	9.1%	9.1%	2.3%	0.0%	32.3%				

指標の内容	入所児童数(各年度4月1日現在)					単位	人	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	待機児童数から算出した目標値に向け、施設整備を進めており、入所児童数の目標は概ね達成しているが、それを上回る新たな保育希望が発生するため、待機児童の目標値達成には至っていない。		
保育を必要とするすべての就学前児童を保育することが求められているため。	目標値	-	2,578	2,499	2,411	2,791	2,825			
	実績値	2,241	2,404	2,434	2,438	2,535				
	達成率	-	93.3%	97.4%	101.1%	90.8%				

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	由比ガ浜子どもセンターの建設にあわせて、鎌倉地域の待機児童の状況に鑑みた定員構成の変更を行い、待機児童数の多い低年齢児の定員を増加させた。
-----------------------	---